

令和 3 年度 調布市立第四中学校 授業改善推進プラン

学校の教育目標	
心ゆたかに 体たくましく 賢い生徒 の育成	
目指す学校像（ビジョン） 例）学校像，教員像，児童・生徒像	
<ul style="list-style-type: none"> ・生命をいつくしみ、人の尊厳を重んじる心を育てる学校 ・「生きる力」を育て、個を伸ばす学校 ・安全で安心な学校 	
ビジョンの設定理由 (本校の現状と課題)	<p>【現状】</p> <p>①令和 2 年度 魅力のある学校づくり調査の結果から</p> <p>(1)「授業が分かりやすい」と回答した生徒の割合が約 33%</p> <p>(2)「授業に主体的に取り組んでいる」と回答した生徒の割合が約 34%</p> <p>【課題】</p> <p>①生徒に分かりやすく、主体的に取り組めるような学習活動の実現に向けた授業改善。</p> <p>②ICT機器を有効活用した授業の実践。</p>

教科	目指す学校像（ビジョン）を基にした育成したい資質・能力	資質・能力を育成するための具体的取組
国語	<p>① 学校生活において言葉の大切さを知ると共に、語彙を豊かにして、優れた人間性の向上を図る力。</p> <p>② 主体的・対話的で深い学びに対する姿勢を深める能力。</p> <p>③ 学校及び社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を養う力。</p>	<p>① 評価の定まった文章の紹介を始め、読書を勧めるとともに、理解したり表現したりするために必要な語句を増やし、慣用句・故事成語・四字熟語について理解を深め、語感を磨き語彙を豊かにする。</p> <p>② 話し合い活動の機会を単元の学習の中で増やしていく。またスピーチに取り組ませ、そのスピーチに対する講評も含め、言葉を通じた理解や表現及び言葉を大切にする。</p> <p>③ 目的や意図に応じて、日常生活の中から情報や題材を集め、それを整理して伝えたいことを明確にし、自分の考えが伝わるように考えたり、話したり、文章に書いたりする力を育む。</p>
社会	<p>① 生徒が自ら興味をもって学習に取り組む、主体的に調べ、対話等を通して自らの考えを構築できる力。</p> <p>② 日本の伝統や文化について学び、国際社会で活躍していくための基礎を養う力。</p> <p>③ ICT機器を効果的に活用できる力。</p>	<p>① 生徒が興味をもって学習に取り組むために、「学習内容」と「学習活動」を明確に指示し、生徒自らの考えを引き出す場面設定を増やす。</p> <p>② 日本の伝統や文化を扱うときに、身近な具体例を提示したり、世界と日本を比較したりしながら、現代社会について学ぶ機会を増やす。</p> <p>③ ICT機器を活用し、他者の多様な意見から多面的・多角的に考える指導を心掛ける。</p>
数学	<p>① 生徒が数学を学ぶ意欲を高め、学ぶことの意義や有用性を実感できる。</p> <p>② 活用して考えたり、判断したりしようとする態度。</p> <p>③ 事象を数理的に考察し、表現する能力を高め、主体的・対話的で深い学びをする生徒。</p>	<p>① 発達や学年の段階に応じた反復により、理解の深まりや広がりなど学習の進歩を感じ、学習し身に付けたものが、日常生活で具体的に使われている例を授業で扱う。</p> <p>② 試行錯誤したり、資料を収集、整理したり、観察したり、操作したり、実験したりするような数学的活動を取り入れ、思考力、判断力を高める。</p> <p>③ 数や図形の性質などを的確に表したり、根拠を明らかにして筋道立てて説明したり、自分の思いや考えを伝え合い、それらを共有して質的に高める場면을授業に取り入れる。</p>
理科	<p>① 自然の事物・現象に関心を持ち、主体的に調べ、学ぼうとする力。</p> <p>② 自然の事物・現象を科学的に探究し、自らの考えをまとめる力。</p> <p>③ 自らの考えを相手に伝える力と他者との関わりの中で自分の考えを再考させる力。</p>	<p>① 日常生活の事象について、多くの疑問をもつよう学習内容と日常生活をできる限り関連させる。</p> <p>② 実験、観察を多く取り入れ、生徒の学習意欲を高めるとともに、実験の技能や考える力を育成する。</p> <p>③ ICT機器を活用し、授業の中で意見交換や議論の時間を増やし、その中で、自分の考えを広げ深められるよう指導する。</p>

音楽	<ul style="list-style-type: none"> ① 音楽に対する豊かな感性と音楽を愛好する心情を育み、生涯にわたって音楽に親しんでいく態度。 ② 表現や鑑賞の音楽活動を通して、音楽活動の楽しさや、自分たちで協力してつくり上げる喜びを味わえる、主体的な生徒。 ③ 日本の伝統音楽のよさや美しさを味わい、日本文化を大切にす豊かな心。 	<ul style="list-style-type: none"> ① 音楽の多様性を味わえるよう、様々な楽曲に取り組み、その魅力を深く伝えられるような映像や音源を精選し、1時間の中で「様々な形態の活動」、「ICT 機器を活用した活動」を取り入れて音楽の楽しみを味わわせる。 ② 表現や鑑賞で「自分の思いを伝え合う活動」や、表現を高めるための「学び合い活動」を取り入れ、多様な考え方を知り、他者への寛容の心を育てる。 ③ 和楽器「箏」を演奏するとともに、伝統的な日本の芸術を鑑賞し、日本文化の魅力を味わう。
美術	<ul style="list-style-type: none"> ① 対象や事情を捉え造形的な視点について理解するとともに、表現方法を創意工夫し、創造的な表す力。 ② 造形的な良さや美しさ、表現の意図と工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生み出す豊かな発想や構想を練り、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深める能力。 ③ 美術の創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を育み、心豊かな生活を想像していく態度。 	<ul style="list-style-type: none"> ① いろいろな表現技法を体験し、対象にあった表現方法を身に付け創造する。 ② 自己の構想や発想を深めるために、班やクラス内での学び学習を取り入れ、他者の多様な意見や感想を参考にし、自己の構想や発想を深める。 ③ 鑑賞や他者の制作過程を通して、美術を愛好する心情を養う。特に日本をはじめ文化遺産の美術作品について ICT を活用とした授業を展開する。
保健体育	<ul style="list-style-type: none"> ① 各種の運動の特性に応じた技能及び個人生活における健康、安全について理解するとともに、基本的な技能を身に付けられる力。 ② 運動や健康についての自他の課題を発見し、合理的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力。 ③ 生涯にわたって運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かな生活を営む態度。 	<ul style="list-style-type: none"> ① 各種の運動に必要な基礎体力の強化を継続的に行うことと、それぞれの運動特有の動きを習得するための授業の工夫。 ② 個人あるいは集団種目の動きを振り返り、よりよい行動を引き出すためのチームミーティングやビデオ等の ICT の活用。 ③ 授業以外の時間でも自主的に活動し、実践できるような学習方法の明確な指示をする。
技術・家庭	<ul style="list-style-type: none"> ① 生活と技術について理解しているとともに、それらに係る技能。 ② 生活や社会の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、表現するなどして課題を解決する力。 ③ よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践する力。 	<ul style="list-style-type: none"> ① 知識・技能を定着させるうえで ICT 機器を積極的に活用して、生徒の興味・関心を生かした自主的、自発的な学習を促していく。 ② 実生活での実践や、学校外で応用できるような教材を扱う。また様々な分野を通して実生活を豊かにできるような課題を設定する。 ③ 日本の伝統や文化の継承・発展についても学べるような実習を取り入れる。また、グループ活動を通して調べたものを互いに共有し深め合っていくような課題を設定する。
英語	<ul style="list-style-type: none"> ① 外国語の表現、文法言語の働きなどを理解し、4 技能・5 領域による実際のコミュニケーションにおいて活用できる力。 ② 外国語で簡単な情報や考えなどを理解したり、表現したり、伝え合う力。 ③ 日本・異文化理解を深め、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度。 	<ul style="list-style-type: none"> ① 毎時間、4 技能・5 領域活動を取り入れるため、帯活動、文法指導、辞書指導、教科書音読、自己表現活動を展開する。 ② 主体的に学習するように、即興的な対話等、ペア活動やグループワークの活動などを通して、主体的・対話的で深い学びを取り入れる。 ③ 生徒の興味が深まるように ICT 機器を活用し、実際の映像を多用する。また、AET の授業で積極的なコミュニケーションを図る機会を設け、国際感覚を養う。
道徳科	<ul style="list-style-type: none"> ① 人権尊重の精神を基調とし、自己を見つめ、自他の関係を深く考え、行動実践する力を身に付けさせる。 ② 1 学年では、「より良い生き方を考える」、2 学年では「主体的な判断をもとにより良い行動をする」、3 学年では「他者と共によりよく生きる」力を育てることに重点をおく。 	<ul style="list-style-type: none"> ① ICT 機器や「人権教育プログラム」を活用し、生徒がより深く身近に教材を理解し、考えさせる工夫をする。 ② 自分の考えを深めるとともに、違う視点から考えさせることで他者への理解を深める。 ③ 学期ごとの振り返りシートを使用し、自分の変容に気づかせ、評価につなげる。 ④ 3 年間を見通した計画に基づき、「生きる力」を育む。